

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	浜田市立長浜小学校
授業者	寺本優子

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

いろいろなふね

#### 1-2. 学年

1年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

国語

#### 1-4. 単元の概要

本単元は、書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り、ほかの本で読んで調べたことをまとめる力を育てることをねらって設定している。本教材「いろいろなふね」は、「始め(話題提示)」「中(4つの例示)」「終わり(まとめ)」の3つのまとまりに分けることができる。1年生にとって分かりやすい構成であると同時に、説明文の典型的な文章構成となっている。その事例には、役目・構造や装備・機能について繰り返し書かれており、読みの視点を生かして正しく読み取ることができる教材である。また、役目と構造との関係性を学ぶことで、船の新しい見方・考え方を知り、楽しい説明文の読みを体得することができる。

子どもたちは、これまでの説明文の学習で、簡単な構成や挿絵や本文を根拠に内容を読み取る学習してきた。子どもたちにとって、船は身近な乗り物であるとはいえないが、疑問や写真や経験を共有化しながら、本文とつなげていく学習を通して、内容を正しく読み進めることができるであろう。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

子どもたちにとって船を見る機会は日常的にあるが、船の働きや役目について知ることはほとんどない。そこで、この学習を通して「船」にはいろいろな種類があり、様々な働きがあることを知ってほしい。また児童にとって何気なく見ている船は、様々な場面で活躍していることを知り、より興味をもってほしい。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

低学年の説明文では、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む力を身につける必要がある。前単元「どうやってみをまもるのかな」では、体の特徴、身の守り方、具体的な方法の順で事例の説明がなされているのに対し、本単元「いろいろなふね」では役目、構造・装備、機能の順で書かれており、最後にまとめる文がついている。したがって、4つの船の事例について事柄ごとに正しく読み取るだけでなく、船全般が役目にあうようにつくられている関係性をまとめの文から読み取り、ほかの本でも、その読みの視点で調べたことをまとめる力を身につけていきたい。

1-7. 単元の展開（全3時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1  2	<p>○いろいろな船の写真を見て、気づきや経験を出し合う。</p> <p>○「乗り物図鑑」作りをすることを知り、学習の見通しをたてる。</p>	<p>○浜田漁港や商港の写真や、漁船・商船等の写真を見せることで、身時間にある船に興味関心をもたせる。</p> <p>○並行読書ができるように、学級文庫に船に関する本を置く。</p> <p>【関】船に興味をもち、写真や図鑑を読んでいる。（観察）</p> <p>【関】「いいとこさがし乗り物図鑑」を作ることに興味をもって絵本や図鑑を読んでいる。（観察）</p>
3  4	<p>○全文を通読して書かれている内容のおおよそを知り、初発の感想を書く。</p> <p>○「いろいろなふね」の構成を考える。</p>	<p>○写真の並べ替えをして、おおよその内容を確認する。</p> <p>○写真を手がかりにしたり、まとめの段落を抜いたりすることで、構成や読みの視点に気づかせる。</p> <p>【読】写真や大事な言葉に目を向け、大事なことばや構成を考えている。（観察・発言・ノート）</p>
5  6  7  8  9	<p>○客船の「やく目」と「つくり」「できること」の関係を読み取る。</p> <p>○フェリーボートの「やく目」と「つくり」「できること」の関係を読み取る。</p> <p>○漁船の「やく目」と「つくり」「できること」の関係を読み取る。</p> <p>○消防艇の「やく目」と「つくり」「できること」の関係を読み取る。</p> <p>○いろいろな船の「やく目」と「つくり」の関係について考える。</p>	<p>○拡大写真から気づきを出し合うようにし、意見を共有化する。</p> <p>○船の合体写真を見せ、ゆさぶりをかけることで、「やく目」と「つくり」の関係性に気づかせる。</p> <p>○話し合いの活動では、問い返しをしたり、経験を想起させたりすることで、思考を深める。</p> <p>○「つくり」に特徴のある船の写真を取り上げ、「まとめ」の段落の理解を深める。</p> <p>【読】いろいろな船の「やく目」と「つくり」を結び付けて考えようとしている（学習シート）</p>
10 ～ 13  14	<p>○ほかの本や文章を読んで好きな乗り物について調べ、カードにまとめる。</p> <p>○調べたことを互いに読み合い、感想を交流する。</p>	<p>○読んだ本から、「やく目」「つくり」「できること」を取り出すことを確認し、友達と相談しながら、カードにまとめさせる。</p> <p>【書】乗り物を選び、「やく目」と「つくり」や「できること」の関係を考えて、カードに整理して書いている。</p> <p>【関】書いたカードを友達と交換して読み合い、よいところを見つけて感想を書いている。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

漁船の「やく目」、「つくり」、「できること」を読み取ることができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○漁船の写真を見せ、何の船が予想させる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・何の船かな。</li><li>・網が見せるから、魚をための船かな。</li><li>・漁師さんが乗る船だね。</li><li>・漁船かな。</li></ul> <p>○本時の目標を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><p>ぎょせんの「やく目」「つくり」「できること」をよみとろう。</p></div> <p>○教科書（P41）を読み、漁船について知る。</p> <p>○漁船の「やく目」、「つくり」、「できること」を読み取る。</p> <p>○本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・漁船の役目は、魚を取ることだと知れた。</li><li>・あんなに大きい網が積んであるから、たくさんの魚を一気に取ることができるとうわかった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・写真だけを見せ、何の船か想像させる。</li><li>・ヒントになる部分をペンで囲み、何の船か考えやすくする。</li><li>・学校の近くの海にも漁船があることを話し、本時の学習に興味をもてるようにする。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・音読するところをデジタル教科書を使って確認し、全員で読み進める。</li><li>・個人でも読む練習をする時間を取り、内容を何度も確認できるようにする。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・最初は個人で読み取る時間をとる。前時までに読み取った客船やフェリーボートなどのページを黒板にも貼っておく、読み取る時のヒントにする。（ワークシート・観察）</li><li>・個人で探す時間の後には、全体で「やく目」、「つくり」、「できること」を確認する時間をとる。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・本時で読み取ったことも含めて、漁船についてわかったことを発表する。（発表）</li><li>・漁船は児童の身近にある乗り物の一つだということ話す。</li></ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

自動車が好きな児童が多い学級であるが、今回の学習を通して船に興味をもつことができた。この「いろいろなふね」は、1年生にとって分かりやすい構成であると同時に、説明文の典型的な文章構成となっているので、漁船だけでなく、いろいろな船の「やく目」「はたらき」「できること」について読み取ることができた。

漁船について読み取る時間には、自分たちが見たことのある船について書かれていることもあり意欲的に学習に取り組むことができた。漁船を見たことがある児童はほとんどであったが、働きについてまで知っている児童はほとんどいなかったもので、本時で詳しく知ることができた。働きを知ったことで、「こんなすごい船が自分たちの近くにもあるんだ。」「こんな船だから、たくさん魚が取れるんだ。」と漁船のすごさを感じることができた。

児童にとって、この学習を通して船は身近な乗り物だと実感する機会となり、貴重な学習となった。

### 4. 今後の課題

このように教科書に載っている学習内容からも児童が海に興味関心をもてたり、親しみがもてたりするように工夫して学習活動を行う。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。